

UOZU まちなかパーク -公園に浮かぶ庁舎-

ここに誕生するのは、公園と庁舎が共生する新しいシンボル。市民が集まり、活動が広がり、まちを育てる舞台です。



- 1 まちの新たな交流拠点
公園と庁舎を一体化
- 2 にぎわい創出、地域の心のより所
公園、海・山の景を取り込む
- 3 誰にでも分かり易く機能的
議会
執務
市民
コンパクトで明快な3層構成
- 4 安全・安心の砦 / 環境共生型庁舎
環境を取り込む
免震範囲の最小化
コストに配慮しつつ最大機能を発揮

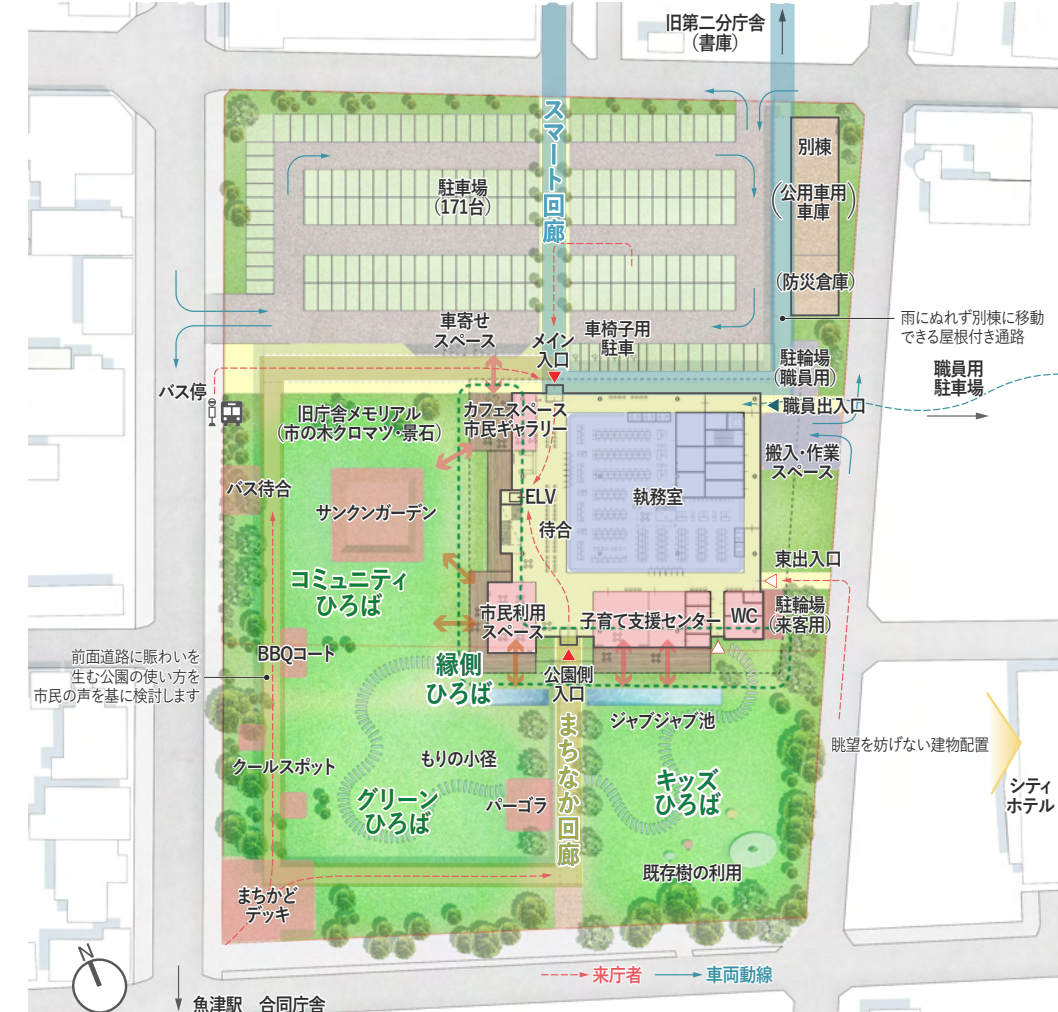


「縁側ひろば」から広がる世代を超えた市民交流

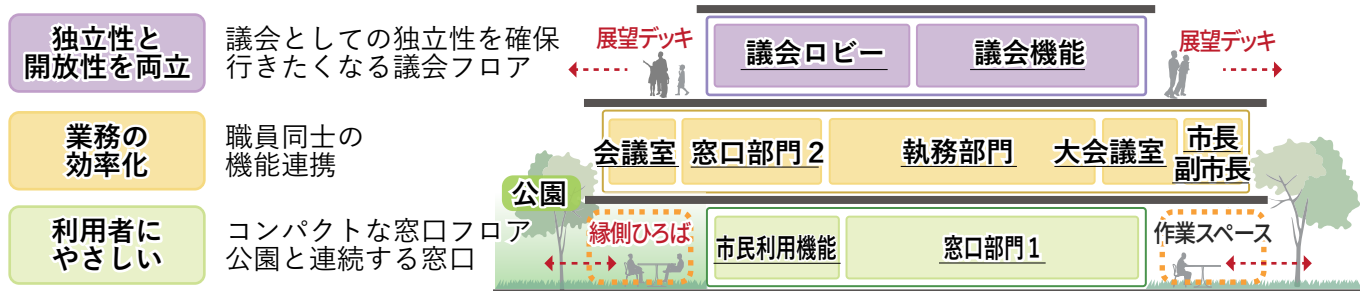


誰からも分かりやすく開放的な待ち時間

公園と庁舎が一体となる配置計画

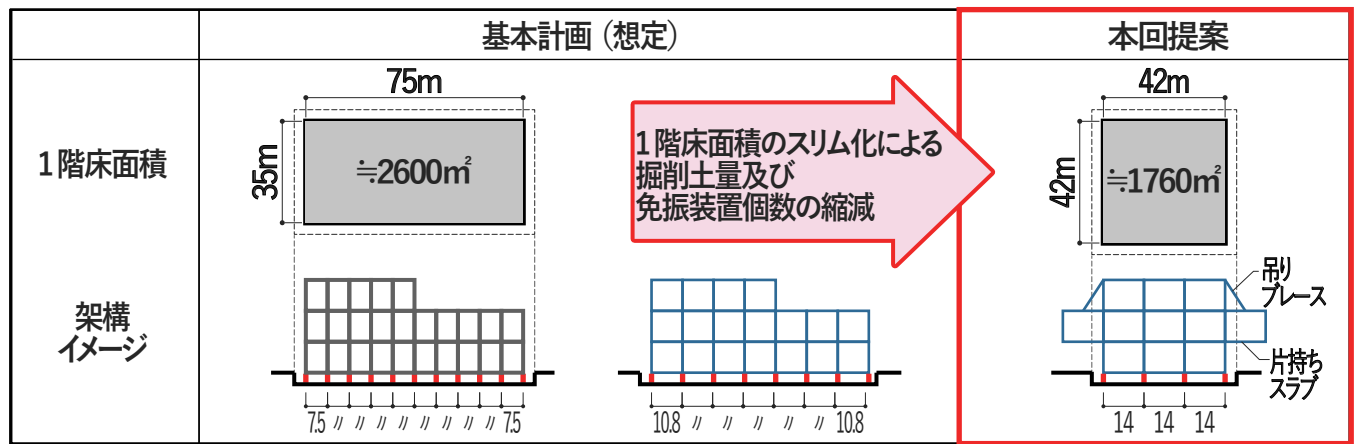


明快な3層構成で、誰にでも使いやすい庁舎を実現



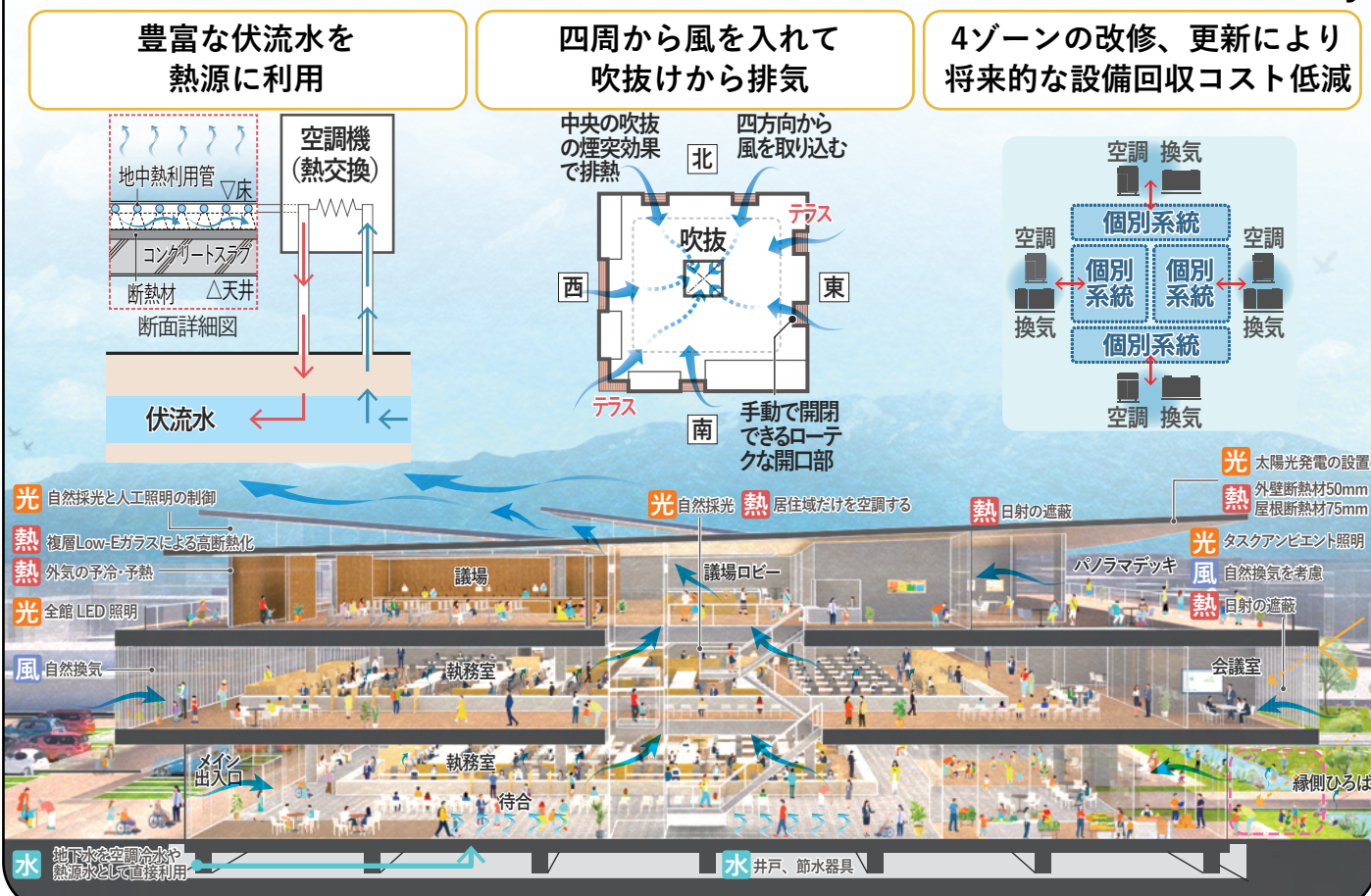
魚津の未来を守る地域防災拠点の実現

- ・1階床面積のスリム化による掘削土量及び免振装置個数の縮減
- ・経済的な構造計画により工期を短縮し建設コストを縮減



魚津の気候風土を活かした低炭素でコンパクトな庁舎

- ・徹底したパッシブ環境手法による熱負荷削減と地下水利用による確実なZEB Ready



分かりやすく使いやすいフロア構成

